

田植機に搭載可能な「土壌診断—適正施肥」システムの開発

1 背景・目的

田植作業中に枕地など作土深の深い場所や土壌肥沃度が高い場所を自動的に検出して減肥することにより施肥量を効果的に削減することを目的に、「土壌診断—適正施肥」システムを構築する。

2 技術のポイント

- (1) 開発したシステムは、田植時に土壌肥沃度を計測するセンサと作土深を計測できるセンサから構成され、予め設定した施肥基準に基づき肥沃度と作土深に応じた施肥が可能である(図1)。
- (2) 本システムにはGPSが導入されており、位置情報と各種データをリンクさせることで、作業結果をマップ表示できる(図2)。

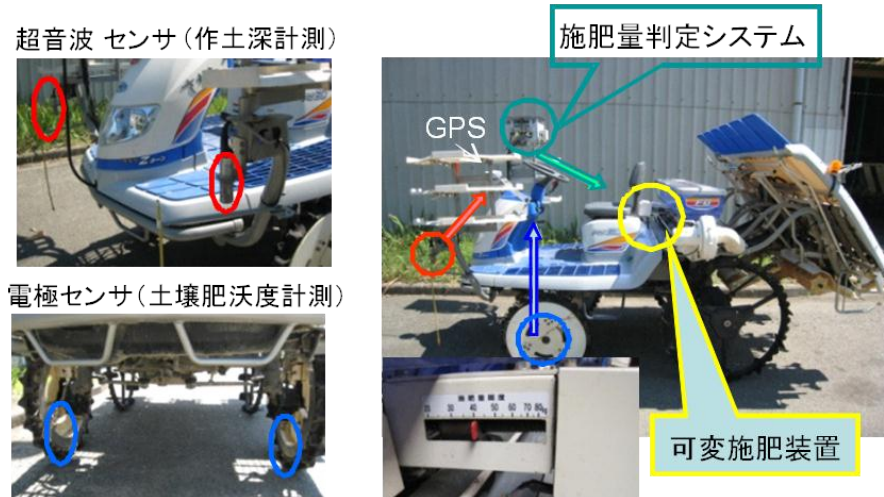


図1 土壌センサ搭載型可変施肥田植機

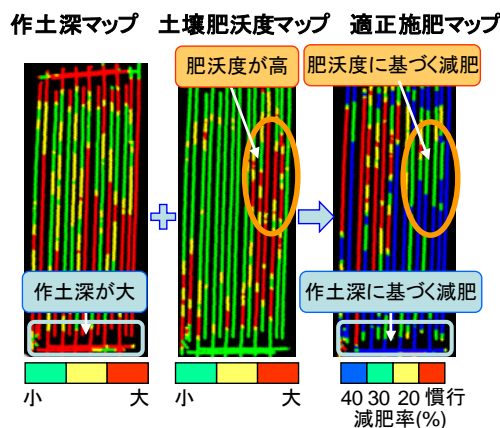


図2 作業情報マップ

3 成果の活用と残された問題点

野菜跡など土壌肥沃度の高い圃場や作土深の浅い圃場での検証が必要である。

問合せ先：作物栽培グループ TEL076-257-6911
 担当者：森本英嗣